

2021年3月期 第1四半期 決算ハイライト



リそなホールディングス

2020年8月7日

2021年3月期第1四半期 決算の概要

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益：218億円

- 前同比△148億円（△40.5%）
- 通期目標*1比進捗率 18.1%

■ 実質業務純益：517億円 前同比△39億円（△7.0%）

● 業務粗利益：1,546億円 前同比△48億円（△3.0%）

- 国内預貸金利益：前同比△23億円
貸出金平残：+3.59%、貸出金利回り：△6bps
（政府等向け貸出金除き）同 +2.07%、同 △5bps
**貸出金残高は、法人主体の資金需要増加で強含み
貸出金利回り（政府等向け除き）は、概ね計画インライン**
- フィー収益：前同比△39億円、フィー収益比率：28.3%
コロナ禍における対面営業の制約等からスロースタート
- 債券関係損益（先物込）：前同比+42億円
タイミングを捉えた売買益積み上げにより増加

● 経費：△1,030億円 前同比+8億円（改善） 人件費・物件費共に減少

■ 与信費用：△159億円 前同比△133億円

コロナ禍での高い不確実性の中、予防的見地も踏まえて対応

HD連結(億円)	2021/3期 1Q (a)	前同比		通期目標*1 比進捗率 (d)
		(b)	増減率 (c)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (1)	218	△148	△40.5%	18.1%
1株当たり四半期純利益(EPS、円) (2)	9.49	△6.40	△40.2%	
1株当たり純資産(BPS、円) (3)	941.54	+39.97	+4.4%	
業務粗利益 (4)	1,546	△48	△3.0%	
資金利益 (5)	1,000	△31		
うち国内預貸金利益*2 (6)	840	△23		
フィー収益 (7)	439	△39		
フィー収益比率 (8)	28.3%	△1.6%		
信託報酬 (9)	44	△0		
役務取引等利益 (10)	394	△38		
その他業務粗利益 (11)	107	+23		
うち債券関係損益(先物込) (12)	78	+42		
経費(除く銀行臨時処理分) (13)	△1,030	+8	+0.8%	
経費率 (14)	66.6%	+1.4%		
実質業務純益 (15)	517	△39	△7.0%	
株式等関係損益(先物込) (16)	△9	△30		
与信費用 (17)	△159	△133		
その他の臨時・特別損益 (18)	△27	+11		
税金等調整前 四半期純利益 (19)	320	△192	△37.5%	
法人税等合計 (20)	△89	+45		
非支配株主に帰属する 四半期純利益 (21)	△13	△1		

*1. 2021/3期 通期業績目標1,200億円 *2. 国内預貸金利益：銀行合算、銀行勘定（譲渡性預金を含む）
*3. 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルスへの対応状況とビジネスへの影響

■ 地域に根差した円滑な金融サービスのご提供

地域
・
お客さま

- 国内すべての営業拠点で、預金・為替・融資などの業務を継続
- 非対面サービス拡充
 - リそなグループアプリ：約260万DL（'20/6末）、ペイジー*1：前同比約2.4倍、振込*1：同約2.2倍
- 資金繰りサポート体制
 - 休日相談窓口、専用コールセンター等も含めたきめ細かな対応
 - Gr共通の「支援ファンド」、公的制度融資の活用等を通じた迅速かつ柔軟なサポート

従業員

- スプリットオペレーション、減員シフト、テレワーク等を幅広く実施

■ '21/3期 1Q：貸出金残高が強含みの一方、フィービジネスは対面営業の制約等からスロースタート 高い不確実性の中、予防的見地も踏まえて引当対応

資金サポート

- 法人取引先の資金繰りニーズ等を主因に貸出金が増加
 - 貸出金平残（政府等向け貸出金除き）：前同比+2.07%（うち一般貸出*2平残：同+3.59%）
 - コロナ関連融資 実行額*3：約1.3兆円
うち信用保証協会付融資 約4割

フィービジネス

- 資産形成サポートを中心に対面営業の制約が影響も、融資関連の法人ソリューション収益は増加
 - 投信・FW・保険収益：66億円（前同比△25%）
 - コミット・シローン・コベナンツ・私募債収益：38億円（前同比+18%）

与信費用

- 一般貸引増加 ⇒ 高い不確実性を勘案した予想損失率の算定
⇒ 公的施策活用等も含めた貸出金残高の増加
- 個別貸引増加 ⇒ 新規発生は、RBで一部大口の発現あるも、グループベースでは前年同期並み水準
⇒ 戻入は、これまでの再生支援進捗等に起因して減少トレンドが継続

*1. '20/6期（RB・SR・KMBのアプリ取扱件数） *2. リそなHD向け貸出除き *3. グループ4行報告ベース（'20.3.10～7.3迄累計）

2021年3月期第1四半期 損益内訳

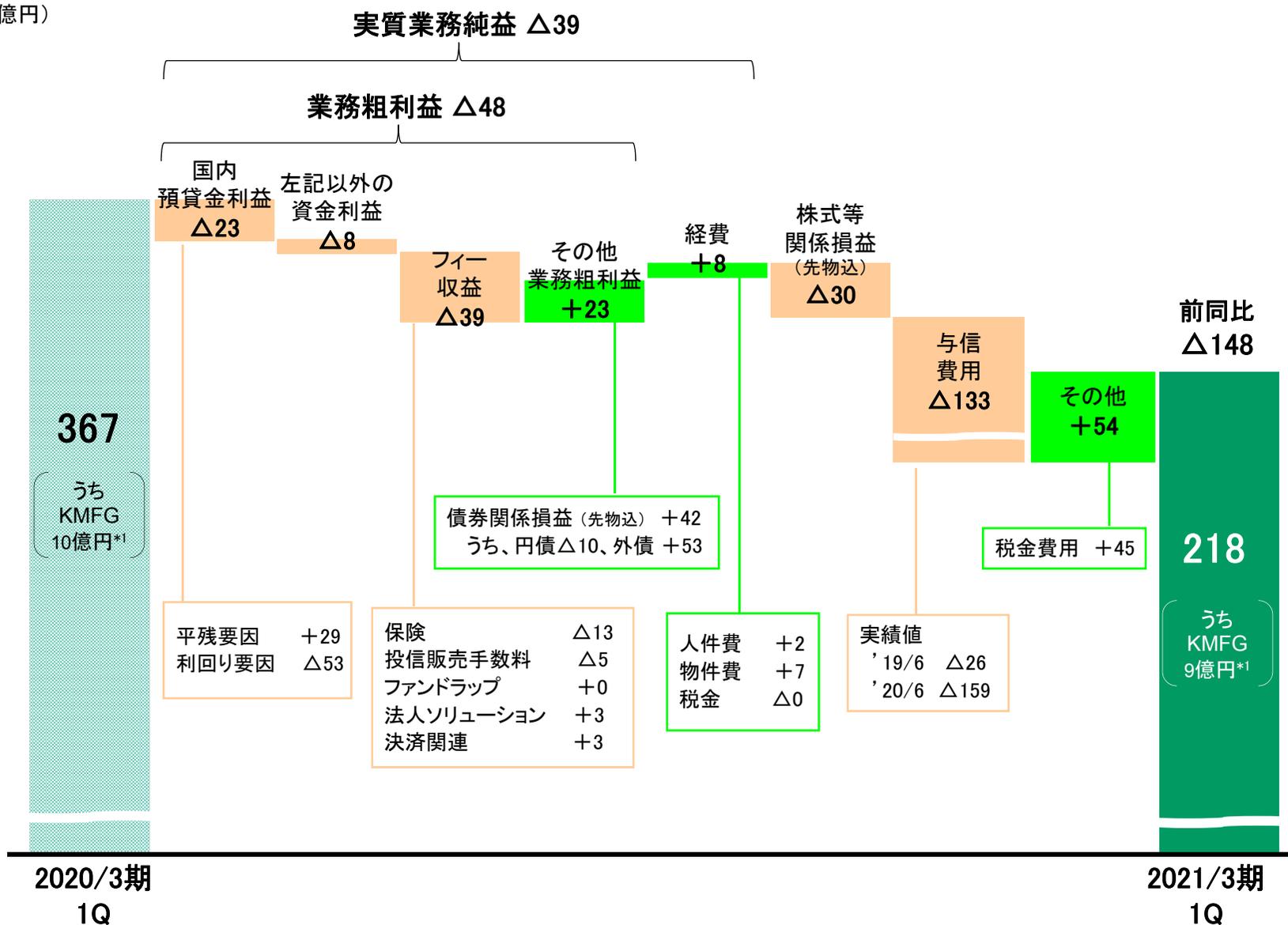
(億円)	HD連結		銀行合算		りそな銀行 (e)	埼玉りそな銀行 (f)	KMFG銀行合算 (g)	連単差 (a)-(c)
	(a)	前同比 (b)	(c)	前同比 (d)				
業務粗利益 (1)	1,546	△48	1,410	△48	813	286	310	136
資金利益 (2)	1,000	△31	983	△33	513	205	264	17
うち国内預貸金利益 (3)			840	△23	427	174	238	
うち投資信託解約損益 (4)	17	+12	12	+7	△4	7	9	4
フィー収益 (5)	439	△39	324	△36	215	71	37	114
フィー収益比率 (6)	28.3%	△1.6%	22.9%	△1.7%	26.5%	24.9%	11.9%	
信託報酬 (7)	44	△0	44	△0	44			△0
役務取引等利益 (8)	394	△38	279	△36	170	71	37	114
その他業務粗利益 (9)	107	+23	102	+21	83	9	9	4
うち債券関係損益(先物込) (10)	78	+42	77	+40	66	6	4	0
経費(除く銀行臨時処理分) (11)	△1,030	+8	*1 △969	+11	△515	△186	*1 △267	△61
経費率 (12)	66.6%	+1.4%	68.7%	+1.4%	63.4%	65.1%	85.8%	
実質業務純益 (13)	517	△39	440	△36	297	99	43	76
コア業務純益(除く投資信託解約損益) *2 (14)			359	△48	242	85	30	
株式等関係損益(先物込) (15)	△9	△30	7	△13	△18	12	13	△16
与信費用 (16)	△159	△133	△143	△132	△113	△7	△22	△16
その他の臨時・特別損益 (17)	△27	+11	△24	+17	△17	△8	1	△3
税引前(税金等調整前) 四半期純利益 (18)	320	△192	280	△165	148	95	36	40
法人税等合計 (19)	△89	+45	△75	+41	△38	△27	△9	
非支配株主に帰属する 四半期純利益 (20)	△13	△1						
(親会社株主に帰属する) 四半期純利益 (21)	218	△148	204	△123	109	67	26	

*1. KMBの旧びわこ銀行のれん償却額(△1億円)を除く *2. 実質業務純益 - 投資信託解約損益 - 債券関係損益(現物)

親会社株主に帰属する四半期純利益の前同比増減要因

HD連結

(億円)



*1. KMFG連結四半期純利益 $\times 51.2\%$

貸出金・預金の平残・利回り(国内)

貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

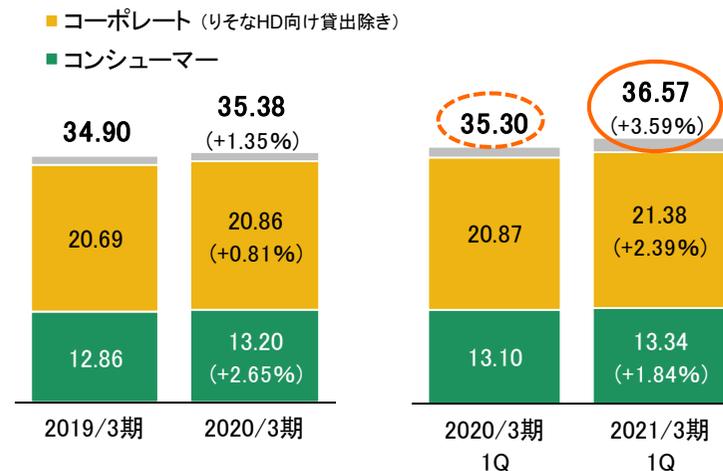
- '21/3期1Q(前同比)：貸出金平残+3.59%、貸出金利回り△6bps
(政府等向け貸出金除き) 同+2.07%、同△5bps

平残：兆円 収益・費用：億円		1Q		2021/3期	
		実績 (a)	前同比*3 (b)	計画 (c)	前期比*3 (d)
貸出金	平残 (1)	36.57	+3.59%	35.78	+1.12%
	利回り (2)	0.93%	△0.06%	0.94%	△0.04%
	収益 (3)	854	△27	3,392	△105
コーポレート部門*1 (りそなHD向け貸出除)	平残 (4)	21.38	+2.39%	20.94	+0.40%
	利回り (5)	0.82%	△0.02%	0.82%	△0.02%
一般貸出	平残 (6)	17.77	+3.59%	17.35	+1.00%
	利回り (7)	0.76%	△0.02%	0.76%	△0.02%
コンシューマー部門*2	平残 (8)	13.34	+1.84%	13.42	+1.64%
	利回り (9)	1.20%	△0.06%	1.19%	△0.05%
預金+NCD	平残 (10)	54.55	+5.23%	52.86	+1.41%
	利回り (11)	0.01%	△0.00%	0.01%	△0.00%
	費用 (12)	△14	+3	△64	+7
預貸金	利回り差 (13)	0.92%	△0.06%	0.93%	△0.03%
	利益 (14)	840	△23	3,328	△98

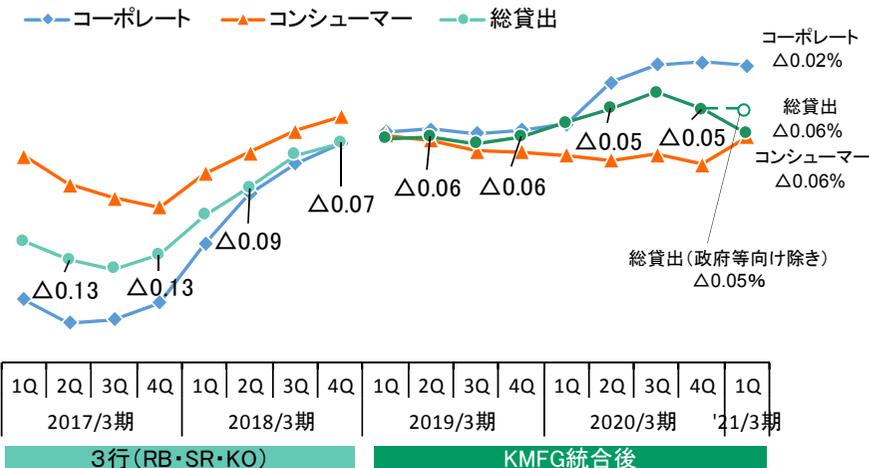
*1. 社内管理計数、コーポレート部門：一般貸出 + アpartmentマンションローン
 *2. 社内管理計数、コンシューマー部門：自己居住用住宅ローン + 消費性ローン
 *3. 平残は増減率

貸出金平残、利回り推移

【貸出金平残(兆円)】()内は前同比増減率



【貸出金利回り 前同比(%)】



貸出金・預金末残

銀行合算

貸出金末残

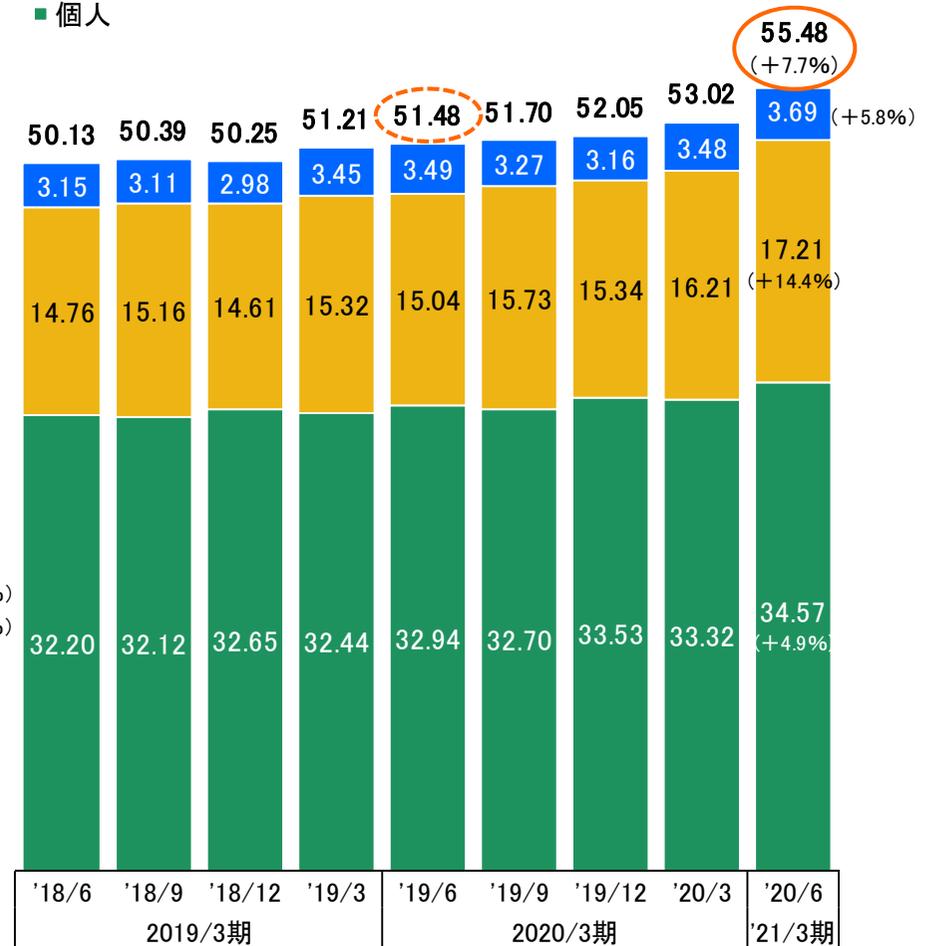
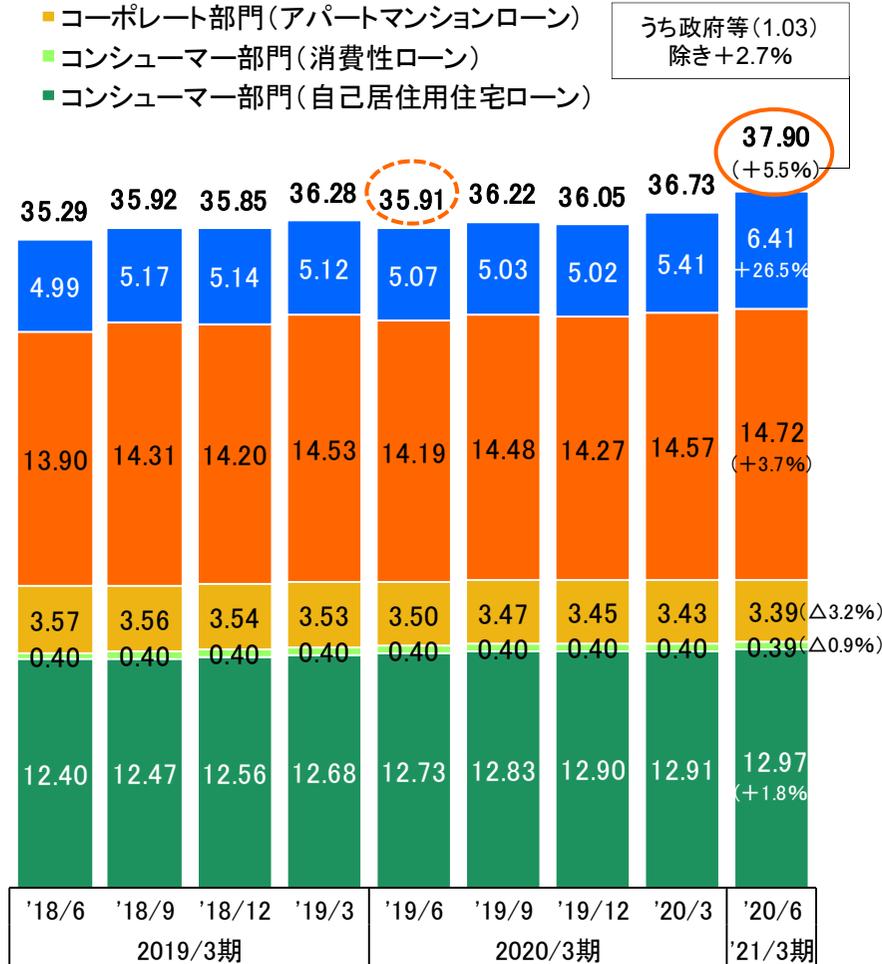
預金末残

兆円、()内は
前同比増減率

兆円、()内は
前同比増減率

- コーポレート部門(大企業・その他)
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(アパートマンションローン)
- コンシューマー部門(消費性ローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン)

- その他
- 法人
- 個人



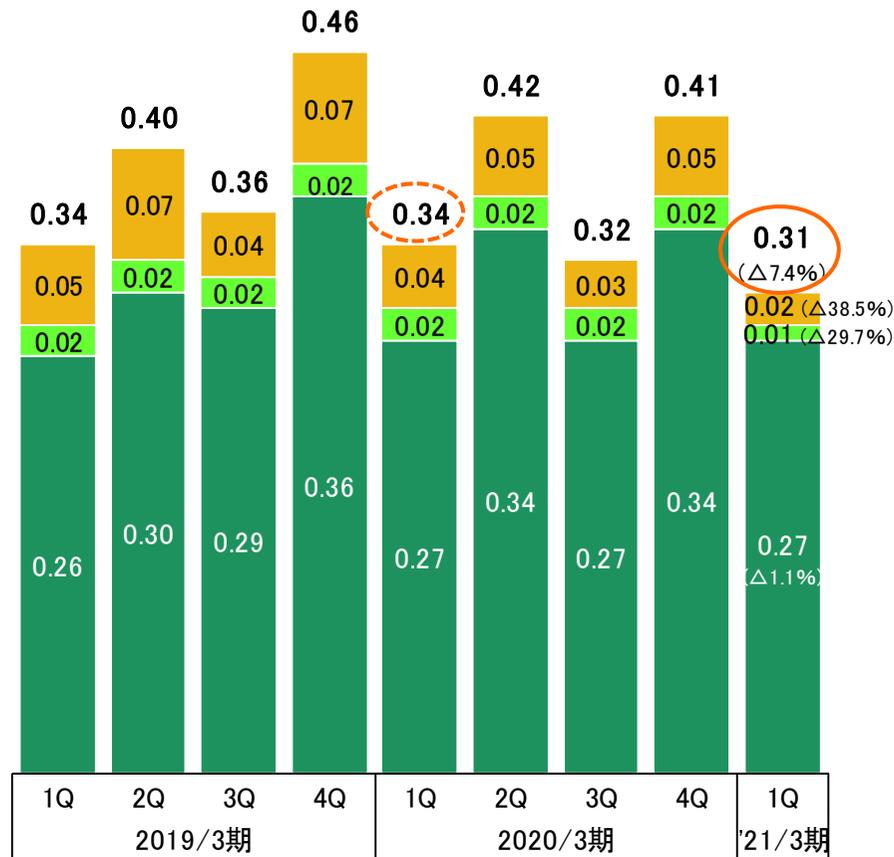
住宅ローンビジネス

銀行合算

住宅ローン実行額

兆円、()内は
前同比増減率

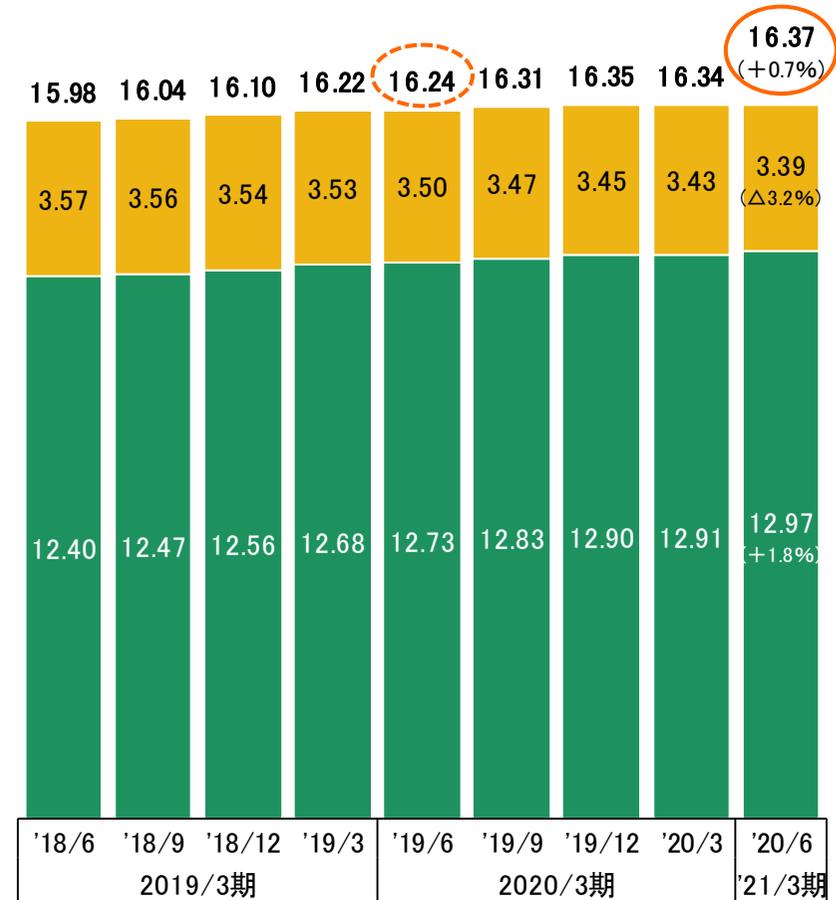
- アパートマンションローン
- フラット35
- 自己居住用住宅ローン



住宅ローン末残

兆円、()内は
前同比増減率

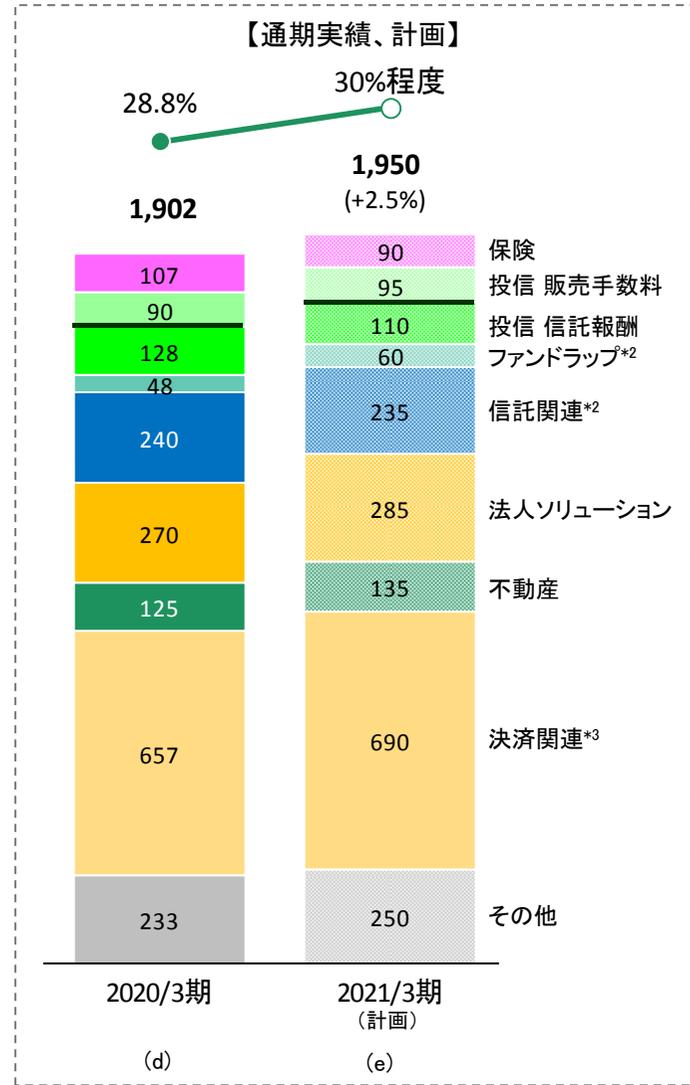
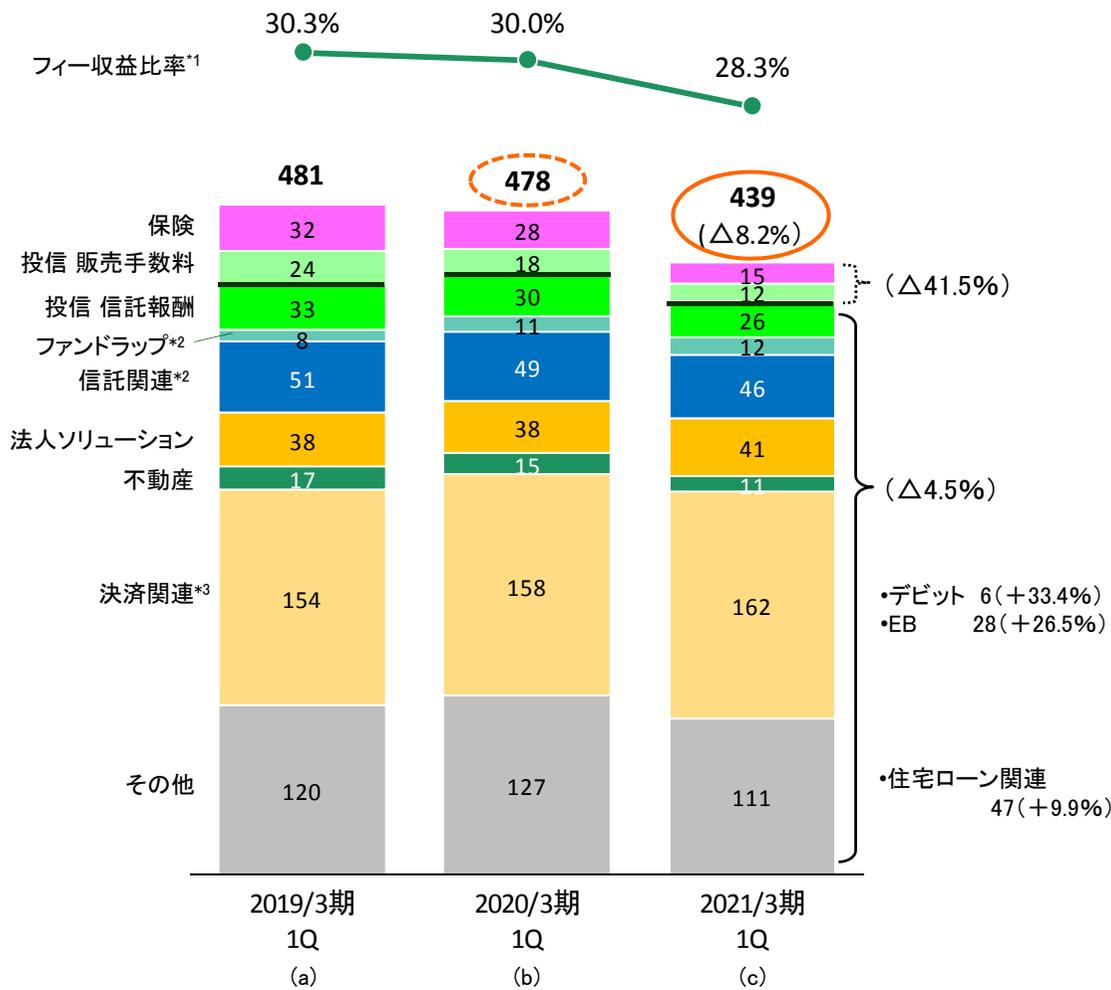
- アパートマンションローン
- 自己居住用住宅ローン



フィー収益

- フィー収益比率*1: 28.3%
- 保険、投信販売手数料が減少も、ファンドラップ(前同比+4.8%)、法人ソリューション(同+8.4%)、決済関連(同+2.2%)は増加

億円、()内は前同比増減率

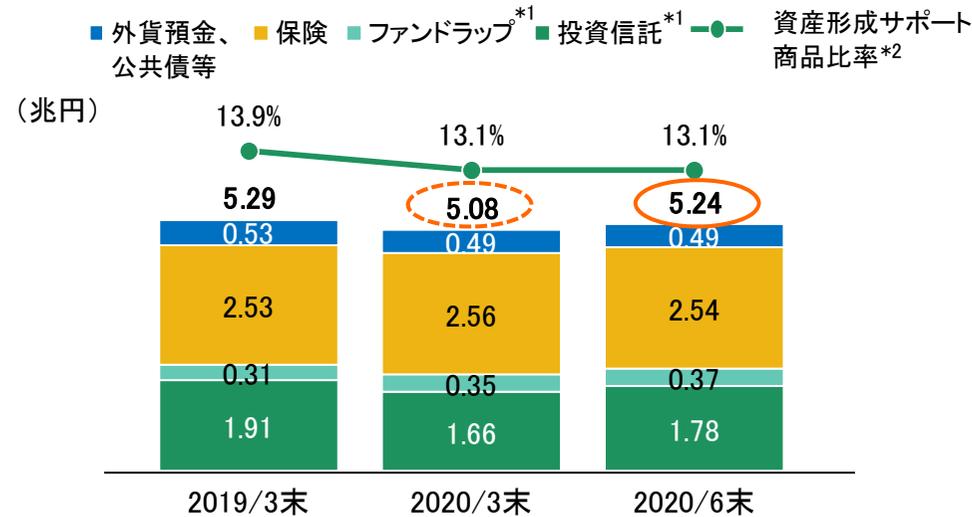


*1. (役務取引等利益+信託報酬)／業務粗利益 *2. リそなアセットマネジメントの役務利益を含む
*3. 内為、口振、EB、VISAデビットおよびリそな決済サービス、リそなカードの役務利益

主要なフィービジネス(1) (資産形成サポートビジネス)

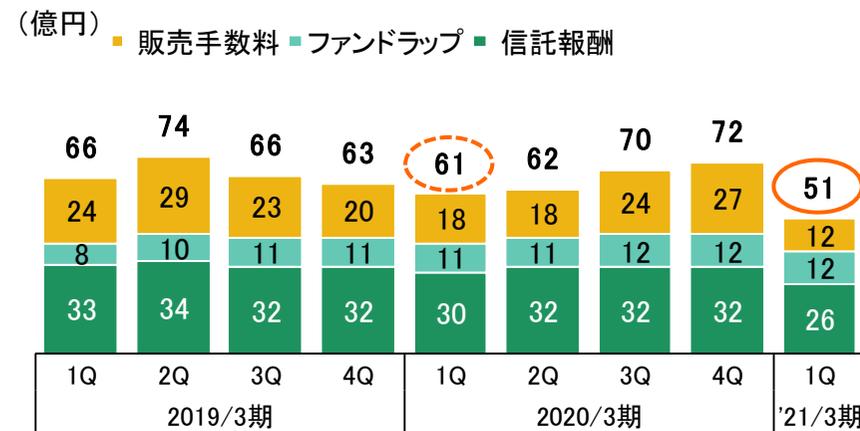
HD連結

個人向け資産形成サポート商品残高

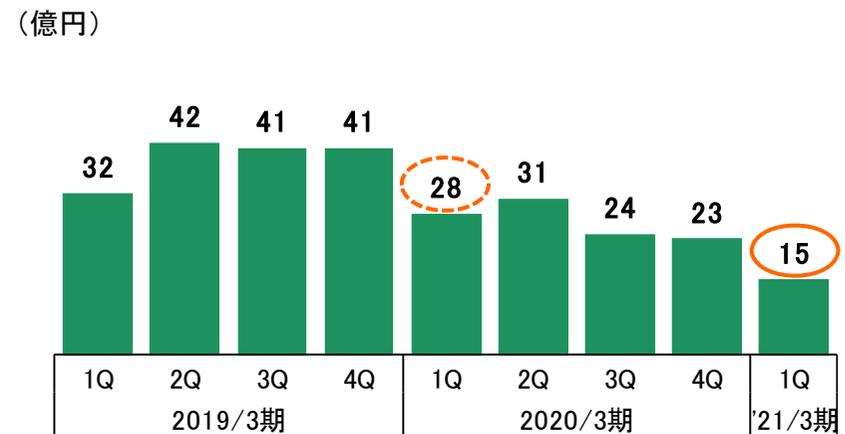


- FW(ファンドラップ)残高*1:
'20/6末 3,785億円 (法人込 4,174億円)
- 投資信託・FWの増減: '21/3期1Q 約+1,400億円
● うち純流入額(販売-解約-償還): 約△120億円
- 投信・FW、保険利用先数: '20/6末 92.5万先
● うちNISA口座数*3: 36.9万口座(前同比+7.8%)
- iDeCo加入者数*4: '20/6末 12.2万先(前同比+17.4%)

投資信託・ファンドラップ収益



保険収益



*1. 時価ベース残高 *2. 個人向け資産形成サポート商品残高/(個人向け資産形成サポート商品残高+個人預金(円貨))
*3. NISA、ジュニアNISA、積立NISA *4. iDeCo加入者+運用指図者

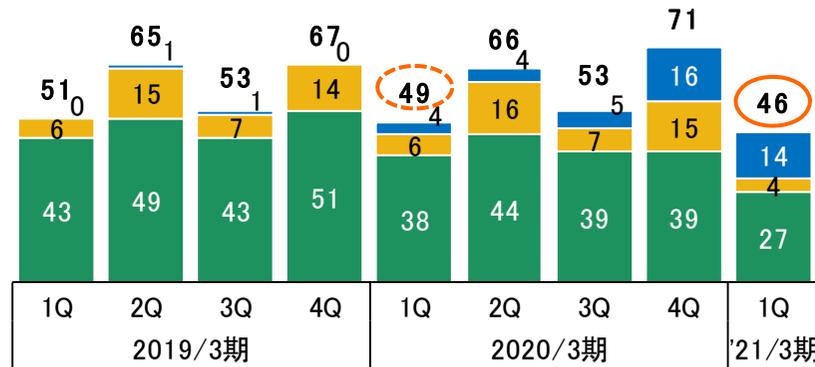
主要なフィージネス(2) (信託・法人ソリューション・不動産)

HD連結

信託業務関連収益

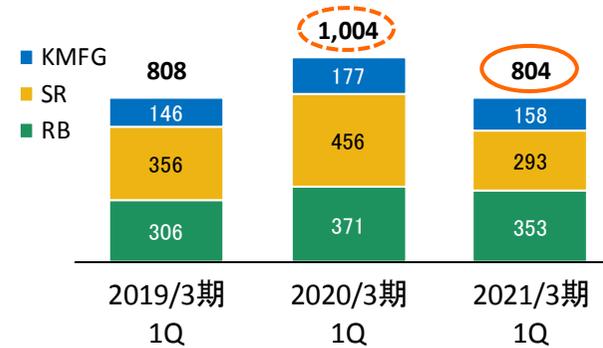
(億円)

■ リソナアセットマネジメント ■ 承継信託 ■ 年金・証券信託



■ 信託機能のグループ展開を通じた収益機会の拡大

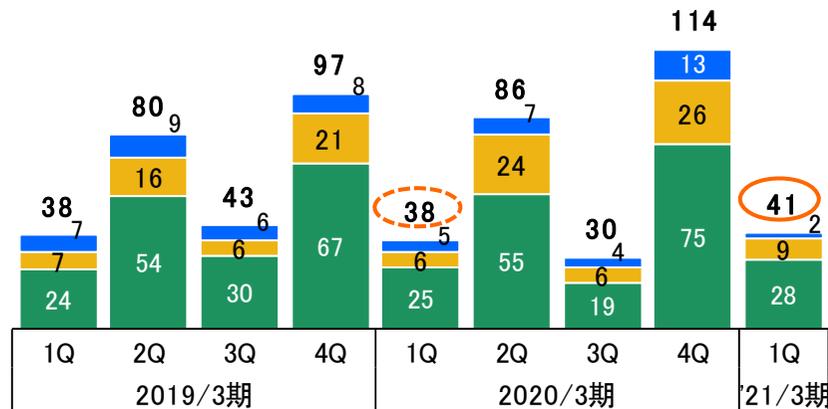
【承継信託 新規利用件数】



法人ソリューション収益

(億円)

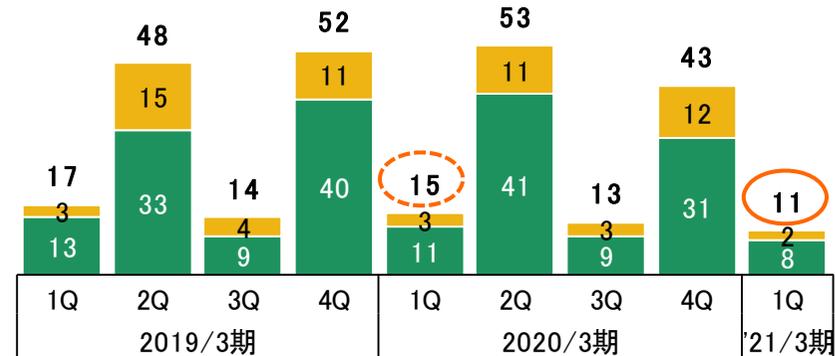
■ M&A ■ 私募債 ■ コミット/シローン/コベナンツ



不動産業務収益*1

(億円)

■ 法人 ■ 個人



*1. 不動産ファンド出資関連収益除く

与信費用、不良債権

与信費用

不良債権残高・比率(銀行合算)

(金融再生法基準)

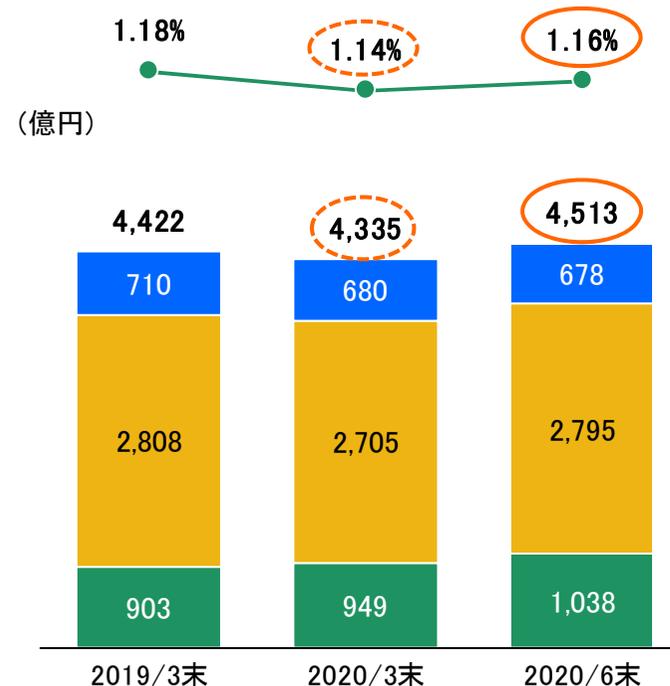
(億円)	2019/3期 (a)	2020/3期		2021/3期	
		1Q (b)	(c)	1Q (d)	計画 (e)
HD連結 (1)	△13	△26	△229	△159	△500

銀行合算 (2)	1	△11	△188	△143	△420
一般貸倒引当金 (3)	112	53	△47	△43	
個別貸倒引当金等 (4)	△110	△65	△140	△100	
新規発生 (5)	△313	△104	△271	△110	
回収・上方遷移等 (6)	202	38	131	10	

連単差 (7)	△14	△14	△41	△16	△80
うち、住宅ローン保証 (8)	30	△3	△23	△10	
うち、リそなカード (9)	△22	△6	△21	△4	

<与信費用比率>		(bps)				
HD連結*1 (10)		△0.3	△2.8	△6.2	△17.0	△13.4
銀行合算*2 (11)		0.0	△1.2	△5.0	△15.0	△11.1

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
- 危険債権
- 要管理債権
- 不良債権比率



*正の値は戻入を表す

*1. HD連結与信費用 / (連結貸出金 + 連結支払承諾見返末残) (期首・期末平均)

*2. 銀行合算与信費用 / 金融再生法基準与信残高 (期首・期末平均)

有価証券*1

(億円)		2019/3末	2020/3末	2020/6末	評価差額
		(a)	(b)	(c)	(d)
その他有価証券	(1)	25,665	30,557	32,135	5,545
株式	(2)	3,538	3,369	3,348	5,542
債券	(3)	11,882	17,228	20,463	△ 88
国债	(4)	461	4,596	6,418	△ 118
(デュレーション)	(5)	6.7年	14.8年	14.3年	-
(BPV)	(6)	△0.3	△6.8	△9.1	-
地方債・社債	(7)	11,420	12,631	14,045	29
その他	(8)	10,245	9,959	8,322	91
外国債券	(9)	4,723	5,541	3,377	119
(デュレーション)	(10)	5.3年	2.4年	4.0年	-
(BPV)	(11)	△1.8	△0.0	△0.9	-
国内投資信託	(12)	5,406	4,350	4,905	△44
(評価差額)	(13)	5,983	4,207	5,545	
満期保有債券	(14)	21,274	19,684	21,001	215
国债	(15)	15,395	11,442	12,690	150
(評価差額)	(16)	471	281	215	

- 3資産の評価差額 (4)+(9)+(12)
'19/3末 +24 ⇒ '20/3末 △69 ⇒ '20/6末 △43 (億円)

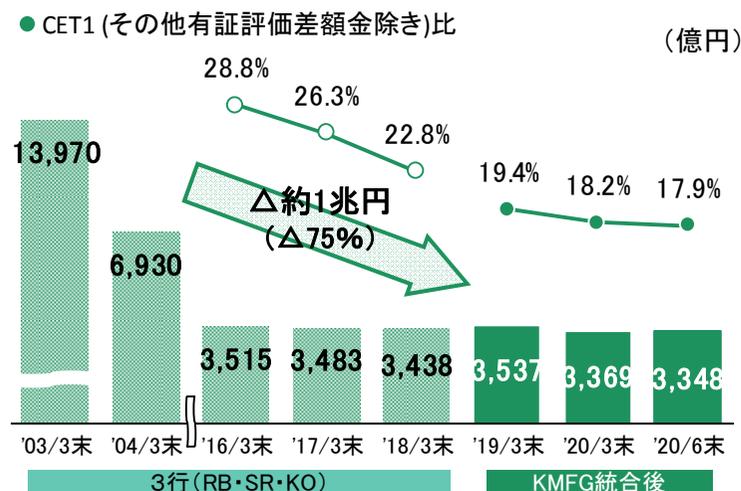
■ CLO: ゼロ

*1. 取得原価、時価のある有価証券 *2. その他有価証券評価差額金除き

政策保有株式

- 2020/6期(実績)
削減額(上場分・取得原価): 20億円、売却益等(同): 28億円
(HD連結ベース: 12億円)
損益分岐点株価(日経平均ベース): 6,800円程度
- 政策保有株式に関する方針の概要
 - 公的資金による資本増強以降、残高圧縮に取り組み、価格変動リスクを低減
 - 保有の是非は中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンの検証により判断
 - '20/3末からの3年間で「300億円程度」を削減
 - 普通株式等Tier1*2対比「15%程度」に削減

【政策保有株式残高】



自己資本比率

HD連結

■ 2020/6末の自己資本比率(国内基準)は11.21%、普通株式等Tier1比率(国際統一基準)は12.79%と十分な水準を維持

国内基準

(億円)	2020/3	2020/6	増減
自己資本比率 (1)	11.17%	11.21%	+0.04%
自己資本の額 (2)	19,470	19,639	+ 169
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	20,124	20,285	+ 161
うち普通株式に係る株主資本の額 (4)	17,334	17,555	+ 220
うち調整後非支配株主持分の額 (5)	2,211	2,174	△37
うち劣後債等 (経過措置による算入) (6)	604	552	△52
コア資本に係る調整項目の額 (7)	653	645	△8
リスク・アセット等 (8)	174,277	175,162	+ 884

■ 自己資本の額の増減要因

- 株主資本の額 +220億円
 - ・ 親会社株主に帰属する四半期純利益 +218億円
- 劣後債の資本算入額減少 △52億円

■ リスク・アセット等の増減要因

- 貸出金の残高増加 +474億円
- コミットメントの契約増加 +352億円

■ グループ銀行、銀行持株会社

国内基準	りそな (連結)	埼玉りそな (単体)	KMFG (連結)
自己資本比率	10.50%	14.37%	8.05%

(参考) 国際統一基準

(億円)	2020/3	2020/6	増減
普通株式等Tier1比率 (9)	12.28%	12.79%	+0.51%
^① 其他有価証券評価差額金除き (10)	10.54%	10.54%	-
Tier1比率 (11)	12.52%	13.02%	+0.50%
総自己資本比率 (12)	13.06%	13.58%	+0.52%
普通株式等Tier1資本の額 (13)	21,547	22,663	+ 1,115
基礎項目 (14)	22,329	23,421	+ 1,092
うち普通株式に係る株主資本の額 (15)	17,334	17,555	+ 220
うち其他有価証券評価差額金 (16)	3,061	3,987	+ 925
うち調整後非支配株主持分の額 (17)	1,787	1,781	△6
調整項目の額 (18)	781	758	△23
^② 其他Tier1資本の額 (19)	409	406	△2
Tier1資本の額 (20)	21,956	23,070	+ 1,113
Tier2資本の額 (21)	954	987	+ 32
総自己資本の額(Tier1+Tier2) (22)	22,911	24,057	+ 1,146
リスク・アセット等 (23)	175,334	177,075	+ 1,741

(参考)

■ バーゼル3最終化ベース試算値

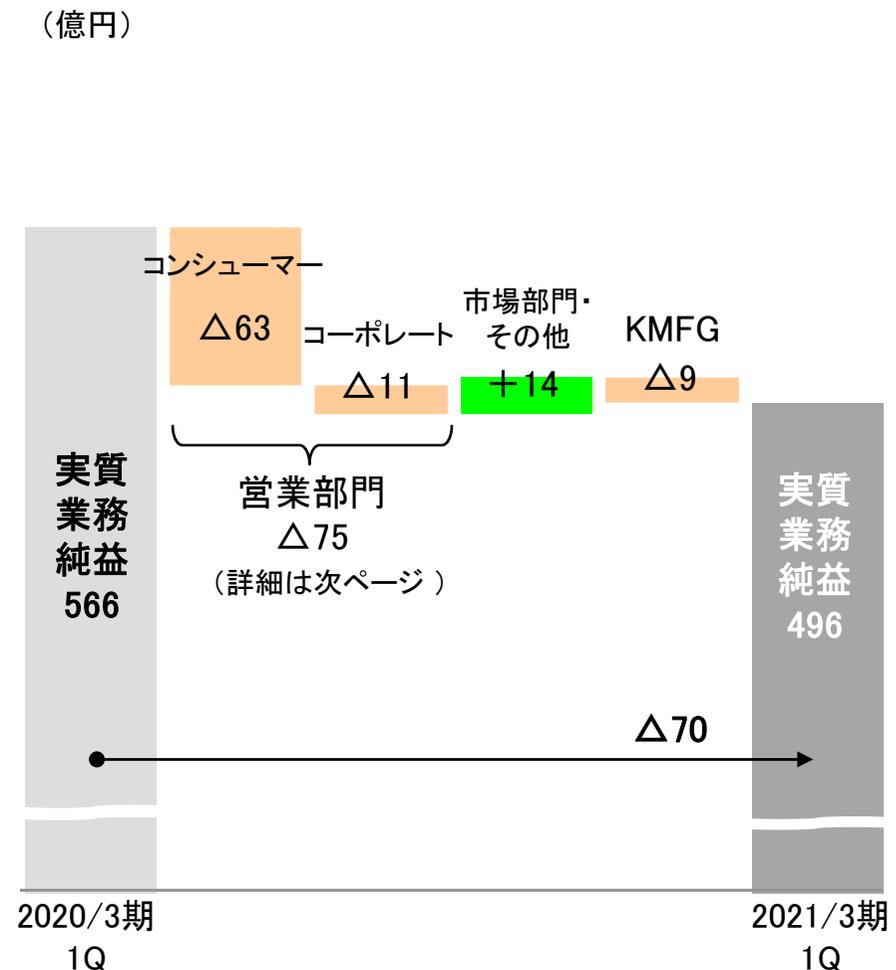
普通株式等Tier1比率(其他有価証券評価差額金除き) **9.0%程度***

※ 2020/6末実績値(10)に対し、バーゼル3最終化(SA・資本フロア見直し等・完全実施基準)によるリスク・アセット増加を反映した試算値

(ご参考)事業部門別の損益概要

HD連結

(億円)		2021/3期 1Q	前同比
営業部門	業務粗利益 (1)	1,066	△78
	経費 (2)	△747	+3
	実質業務純益 (3)	319	△75
コンシューマー	業務粗利益 (4)	500	△62
	経費 (5)	△407	△0
	実質業務純益 (6)	93	△63
コーポレート	業務粗利益 (7)	566	△16
	経費 (8)	△340	+4
	実質業務純益 (9)	226	△11
市場部門・その他	業務粗利益 (10)	126	+14
	経費 (11)	△5	+0
	実質業務純益 (12)	121	+14
KMFG	業務粗利益 (13)	332	△14
	経費 (14)	△278	+4
	実質業務純益 (15)	54	△9
合計	業務粗利益 (16)	1,525	△78
	経費 (17)	△1,030	+8
	実質業務純益 (18)	496	△70



管理会計における 計数の定義

1. 「営業部門」、「市場部門・その他」はKMFG連結子会社を除くHD連結子会社の計数
2. 「市場部門」の業務粗利益には株式等関係損益の一部を、「その他」には経営管理部門の計数等を含む

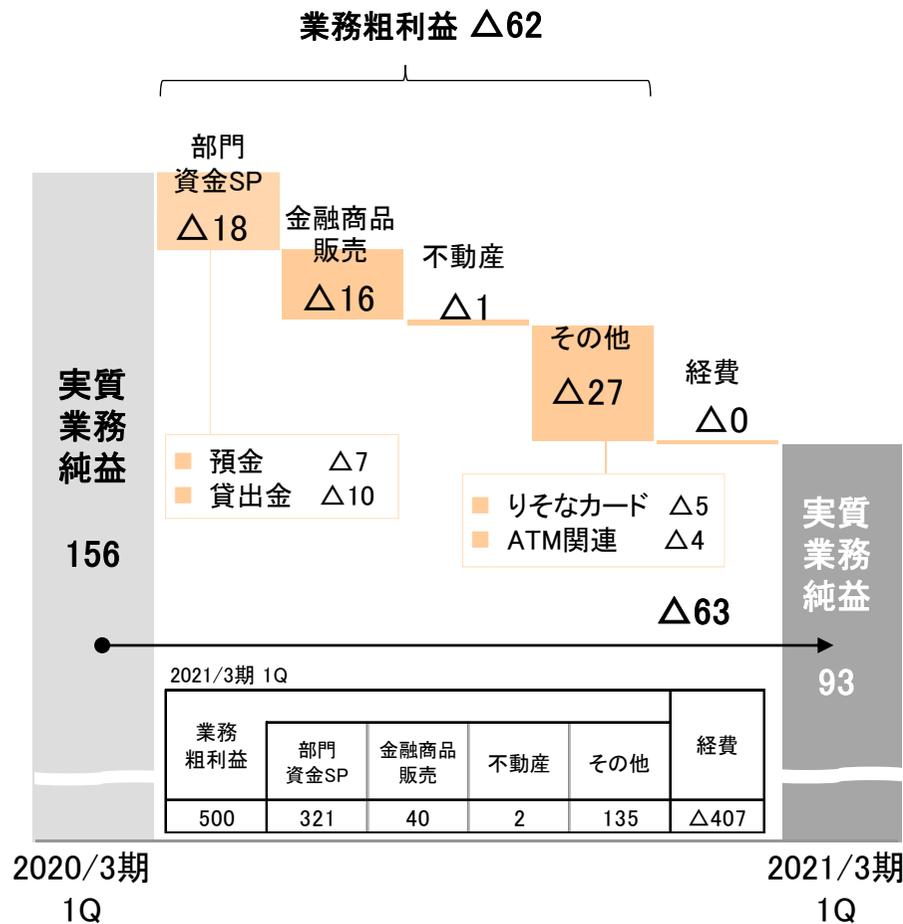
(ご参考) 営業部門の損益概要

HD連結 (KMFG連結除)

コンシューマー部門

- 実質業務純益は前同比63億円の減益

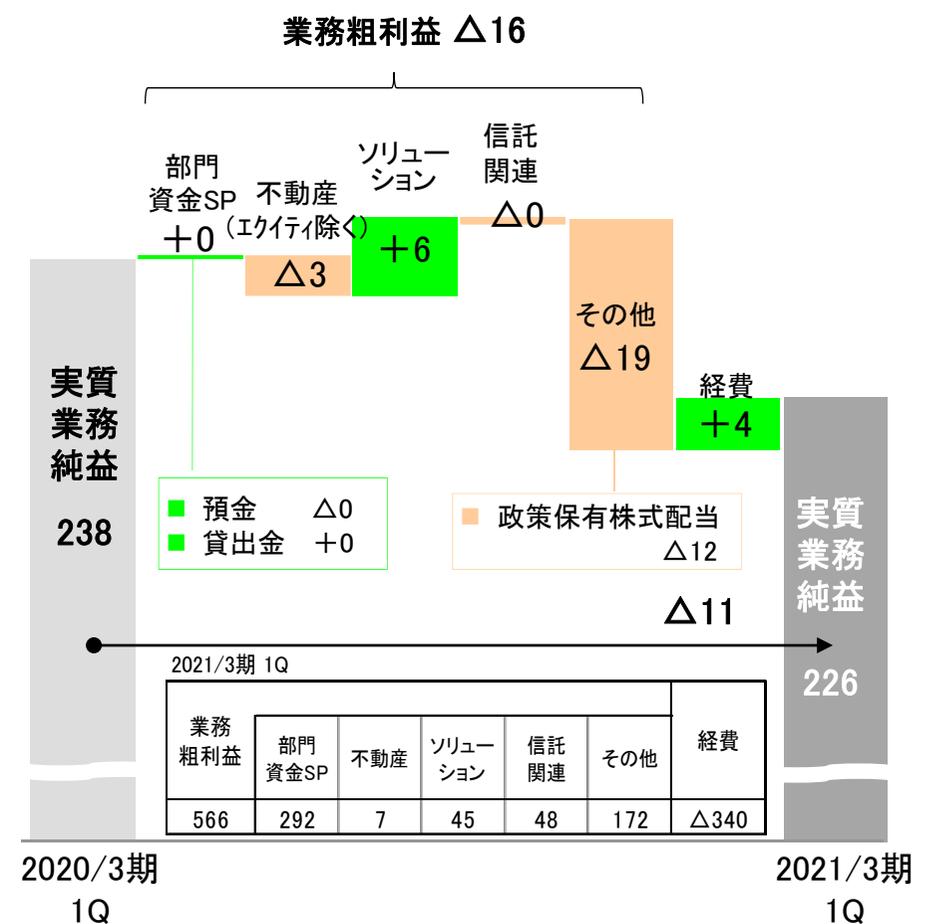
(億円)



コーポレート部門

- 実質業務純益は前同比11億円の減益

(億円)



-
- 本資料における表記の定義は下記の通りです。

[HD] リソナホールディングス、[RB] リソナ銀行、[SR] 埼玉りそな銀行、
[KMFG] 関西みらいフィナンシャルグループ、[KMB] 関西みらい銀行※、[MB] みなと銀行
※[KU] 関西アーバン銀行と[KO] 近畿大阪銀行が2019年4月1日に合併

計数には社内管理計数を含みます。

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行および解釈に係る展開および変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。